

静岡県立浜松湖北高等学校 令和8年度 第2回学校運営協議会 議事録

1 会議概要

日時: 令和8年10月17日（土）午前9時00分～午前11時00分

場所: 本校応接室及び校内施設

開会・成立状況:

静岡県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則第15条第2項に基づき、委員の過半数が出席しており、会議が適法に成立している旨を確認・報告。

司会・進行: 事務局（副校長）

議長: 規則第14条第2項に基づき、委員長が議事を掌理。

公開の取り扱い:

規則第16条および静岡県立学校における運営協議会の設置等に関する要綱第11条に基づき、会議は「公開」とし、学校ホームページ掲載用の議事録を作成する旨、並びに記録作成のための音声録音を行う旨を案内し、全会一致で承認を得た。

2 開会及び校長挨拶

(1) 本日のオープンスクール（授業公開）の目的

- 本日は土曜公開授業（オープンスクール）として設定し、生徒が登校して通常の公開授業を展開している。
- 夏季に実施した体験入学とは趣を異にし、中学生やその保護者に対し、本校生徒の日常における自然な学習・生活状況を直接観察・評価してもらうことを主な目的として実施している。

(2) 合同フェア（一斉説明会）の報告

- 9月26日（土）、浜松駅前の遠鉄百貨店（遠鉄ホール）において浜松市内および近郊高校合同フェア（一斉説明会）が開催された。
- 利便性の高い会場設定もあり、多数の生徒・保護者が来場して大盛況となった。
- 本校ブースにも中学1・2年生を含む多数の生徒・保護者が来訪し、本校の教育内容に対する強い関心と期待が寄せられた。

(3) 公立高校及び専門学科（農・工・商）の魅力追求

- 昨年度（現1年生の入試）において、本校を含め公立高校全般で大幅な定員割れが生じた厳しい現状がある。
- 私立高校では維持・展開が困難な公立専門高校ならではの専門教科（農業・工業・商業）における充実した施設・設備および質の高い実習授業の教育的価値を、中学生や保護者へ積極的にアピール・認識向上を図る方針である。
- 本日の授業見学を通じ、普通科の充実はもとより、専門学科が有する高い実践力と教育力を確認いただきたい旨が示された。

3 議事：令和8年度 学校評価アンケート（生徒・保護者）（案）に関する審議・質疑応答

(1) 【柱Ⅰ】望ましい勤労観・職業観の育成（資格取得・補習体制）

提案内容（成果目標・達成方法）:

- 職場見学、インターンシップ、外部講師による進路講話等の計画的実施。
- 進学補講、面談・小論文指導、資格取得講座の充実。

成果目標:

- 「進路に関する行事に意欲的に取り組んでいる」生徒80%以上、高度な資格検定にチャレンジする生徒の増加。

質疑応答・委員意見:

- 委員より、資格取得に向けたサポート体制の現状と、学校が提示する既存資格以外の分野に自発的興味関心を持つ生徒（部活動非加入者やアルバイト従事者等）へのキャリア支援のあり方について質疑・提案がなされた。

学校側回答・対応策:

- 新規資格の無闇な追加ではなく、既存の難関資格（電験、技能検定〔旋盤等〕、危険物取扱者等）における合格率および挑戦者の向上に重点を置いている。
- 電験や技能検定、危険物取扱者等の取得に向けては、担当教員が個別のマンツーマン指導や補習体制を構築し、丁寧なバックアップを徹底している。
- 委員からの助言を受け、学校の専門領域を超えた資格や多様な進路関心を持つ生徒に対しても、指導可能な外部機関や適切な相談窓口へ繋ぐ「中間的橋渡し機能」の充実に努める方針が確認された。

(2) 【柱ウ】読書活動の推進と読書環境

提案内容（成果目標・達成方法）:

- 毎朝10分間の朝読書の徹底・定着。
- 図書委員会活動の活性化（図書館だより発行、良書紹介、ビブリオバトル等）。
- 成果目標：生徒1人当たりの平均貸出冊数5冊以上、「読書習慣が身についている」生徒80%以上。

質疑応答・委員意見:

- 専任司書が常駐し、校内の一等地（生徒が立ち寄りやすい場所）に図書室が配置されているため、生徒が気軽に本や情報に親しめる優れた学習環境が確保されていると高く評価された。
- 時事問題や社会情勢等のトピックに応じた特設展示コーナーの設置など、図書室における主体的な環境づくりの継続が確認された。

(3) 【柱エ】基本的生活習慣の確立と規範意識の醸成（交通安全・SNSトラブル）

挨拶運動:

- 金指地区等の地域自治会との連携による登校指導・挨拶運動の継続実施。
- 10月に実施場所を幅員の広い交差点へ変更した際、自転車で通学する生徒が走行・移動中であっても大きな声で「おはようございます」と元気に挨拶を行っており、地域住民から「大変好印象で素晴らしい」と高い評価を得たことが報告された。

交通安全・ヘルメット着用・ヒヤリハット:

- **成果目標の改定:**「長期入院につながるなどの重大な交通事故ゼロ」へと見直し設定（赤字改定）。
- 自損事故（自転車での転倒・壁衝突等）や交差点での飛び出し等の危険事例を分析。アンケート結果において「ヒヤリハット経験あり」と回答した生徒（よく当てはまる：11%、やや当てはまる：19%/計30%）の具体的状況把握と生徒への指導徹底を確認。
- 県による高校生ヘルメット着用義務化の方針を受け、委員より「本年度中に着用率のベースライン調査を実施し、義務化後の来年度に数値的改善成果を定量的に提示できるようにすべき」との具体的改善案が提示され、導入に向けた準備と購入呼びかけを進めることとした。

情報モラル・SNSトラブル事例:

- 男子生徒がSNSを通じて見知らぬ人物から金銭要求や不審な勧誘を受けるトラブルが1件発生。
- 生徒が隠さず早期に保護者および担任へ申し出たため、警察等と迅速に連携してトラブルを未然に防止・解決した経緯が報告された。

- 日頃の面談等を通じた相談しやすい信頼関係の維持と、早期対応体制の重要性が再確認された。

(4) 【柱オ】学校行事と部活動の活性化

提案内容（成果目標・達成方法）：

- 学校行事での自主的活動支援（「行事に積極的に取り組んだ」生徒90%以上）。
- 部活動におけるやりがい醸成（生徒85%以上、保護者目標設定）および年度当初目標の達成率70%以上。

質疑応答・委員意見：

- 1年生の部活動加入率は8～9割以上と高水準を維持しているが、非加入者やアルバイト等の多様な選択肢を許容する方針。今後は地域部活動移行など中学校の部活動改革の影響も注視していく必要がある。
- 部活動目標の達成評価については、各部で共有される目標と個人ごとの自己研鑽・目標設定の両面から多角的に評価する方向性が共有された。

(5) 【柱カ】安心・安全な教育環境の整備（人権教育・いじめアンケート・事故防止）

提案内容（成果目標・達成方法）：

- 成果目標の改定点：「長期入院につながるなどの大きなケガを授業中にした生徒ゼロ」（工業実習等における火傷や刃物・工具等による傷害事故防止の徹底）。
- いじめ対策の強化：いじめの未然防止・早期発見・組織的対応のため、いじめアンケートの実施回数を従来の年1回から「各学期1回＋ α （年間4回）」へと大幅に増加。

質疑応答・委員意見：

- 1年生における人間関係づくりのためのコミュニケーションスキル指導の実施。
- 教職員を対象としたデートDV研修や弁護士講師による人権・法的研修の定期的実施と、研修成果の生徒への還元（人権意識の向上や思いやり指導）を推し進める。

(6) 【柱キ・ク】地域社会人材育成・開かれた学校づくり（湖北MAGIC・出前授業）

提案内容（成果目標・達成方法）：

- **湖北MAGIC**：金指駅の清掃活動、地域イルミネーション事業、浜松市動物園活性化プロジェクトへの参画など、地域と一体となった探究活動を展開。
- **出前授業**：小中学校や特別支援学校等へ本校教員が出向き、各専門学科の特性を活かした実践的授業を提供。
- **農業科**：ツツジの植栽指導、特別支援学校・小学校とのノート作り・農業体験交流。
- **工業科**：自動車メーカーのエンブレム由来や自動車工学等の導入講義。
- **商業科**：中小企業や地域と連携した商品開発手法の指導。

目標数値：体験入学・学校説明会の満足度95%以上、ホームページ年間閲覧数73,000回以上。

(7) 【柱ケ】教職員の資質・能力の向上（生成AIの活用）

提案内容（成果目標・達成方法）：

- 教職員向け生成AI校内研修の実施（Gemini、NotebookLM等の校務効率化活用、1人1台Chromebook環境の活用推進）。
- 生徒の探究学習や情報収集における生成AI活用可能性の検討と、セキュリティ・個人情報保護に配慮した指導体制の構築。

(8) 【柱コ】教職員の業務改善と健康確保

提案内容（成果目標・達成方法）：

- 校務DX・業務改善の推進による健康確保（「業務改善をした教員90%以上」）。
- 超過勤務に対する代休・振休の取得促進、法令に基づくストレスチェックの全校実施。
- 長時間労働者に対する医師・健康管理面談および相談窓口の周知による手厚いサポート体制の整備。

(9) アンケート結果のフィードバックと今後のスケジュール

質疑応答・委員意見:

- 委員より「生徒・保護者・教員の意識ギャップを検証するため、アンケートの数値結果のみならず、担当部署による自己評価や改善施策（PDCAコメント）を併記して公表・フィードバックすべき」との要望が提出され、学校側も公表に向けて検討することとした。

提出期限:

- 本日提示されたアンケート案に対する委員からの追加意見・修正の提出期限は10月26日前後（最終締め切り：10月28日の職員会議前まで）とし、事務局まで連絡することとした。

4 コンプライアンス委員会（教職員の生徒指導に係る共通ルール）

(1) 共通ルールの骨子（要約テーブル）

資料2「教職員の生徒指導に係る共通ルール」に基づき、不祥事防止および健全な生徒指導の徹底に向けた共通ルールについて説明がなされ、内容を確認した。

【ルール概要】

SNS等による連絡の原則禁止

教職員と生徒間でのスマートフォン、メール、LINE・Twitter・Instagram等のSNSを用いた連絡（特に1対1の連絡）は原則禁止。

（例外規定）

- ①安全・生命に係る緊急連絡（居場所特定等）
- ②部活動・学校行事等で関係生徒全員に関わる連絡（保護者への事前説明およびGoogle Classroom活用や副顧問等への同時連絡による情報共有体制の徹底が前提）。

生徒との連絡方法

生徒への連絡は生徒宅固定電話、または保護者のスマートフォン等に行う。生徒からの連絡先は学校電話（053-542-0016）に統一する。

面談・相談の実施方法

原則として直接対面し、校内または保護者在宅時の生徒宅で実施。教職員個人で対応せず組織的に対応。1対1で実施せざるを得ない場合は、密室化を防止（窓や扉を開ける）し、管理職や他教職員にあらかじめ報告する。

自家用車への同乗禁止

教職員の自家用車に生徒を同乗させることを禁止する（緊急時・人命に係る場合を除く）。

例外対応

上記ルールで対応できない事態が発生した場合は、あらかじめ管理職の許可を得て対応する。

(2) 啓発・推進体制

- 月1回「コンプライアンス委員会便り」を発行し、全職員へ周知・啓発を実施。
- 県教育委員会作成の不祥事防止啓発動画の視聴研修を定期的に実施。
- 職員会議等の機会を活用し、不祥事ゼロに向けた日常的な注意喚起と倫理観の醸成を継続する。

5 近況報告

(1) 部活動各種大会結果（実績一覧）

資料3に基づき、各部活動の主な大会結果が報告された。 ※なお、資料3の「〇ものづくり研究部」欄に誤って記載されていた「東海高校新人大会陸上競技結果」について、口頭にて「陸上競技部」の実績である旨訂正報告がなされた。

サッカー部:

第105回全国高校サッカー選手権大会（1回戦 VS浜松大平台 3-0、2回戦 VS富岳館 5-0 勝利、3回戦 VS清水桜が丘 1-5 敗退）

バドミントン部:

大阪大会（初心者全国大会）：1回戦出場

選手権西部地区予選：一般男子ダブルス第3位（上村・大見 ※県大会出場）、1年生初心者シングルス男子第8位（船越 ※県大会出場）

選手権県大会：一般男子ダブルス2回戦進出、1年生初心者シングルス1回戦出場

新人戦西部地区予選：男子ダブルス第3位（大見・上村）・第6位（船越・庵原）、女子ダブルス第9位（廣瀬・山岡）※以上3ペア県大会出場。男子シングルス第7位（大見 ※県大会出場）。男子団体第3位、女子団体第5位 ※ともに県大会出場

野球部：

秋季大会県ベスト16（2回戦 VS御殿場南 3-1 勝利、3回戦 VS静岡市立 0-4 敗退）

柔道部：

静岡県柔道祭西部予選：女子団体第2位、男子団体第5位（決定戦で湖西、天竜に勝利）※ともに県大会出場

新人戦西部予選個人戦：女子52kg級第3位（木村）、女子57kg級第2位（阿部）、男子66kg級第2位（三好）、男子81kg級第8位（兵藤）※以上4名県大会出場

卓球部：

新人戦学校対抗男子団体西部地区予選第10位 ※県大会出場

陸上競技部：

東海総体：男子走幅跳第16位（内山 6m66）

西部高校新人大会：男子100m第7位（内山）、3000m障害第8位（加茂）、4×100mリレー第12位、走幅跳第2位（内山）、砲丸投第5位（藤田）・第6位（高野）、円盤投第6位（鈴木）、ハンマー投第2位（高野）・第6位（藤田）・第11位（鈴木）。女子砲丸投第7位（與古田）・第12位（小岱）、円盤投第8位（大石）、ハンマー投第2位（與古田）・第4位（池田）・第6位（酒井） * 県高校新人大会：男子走幅跳第6位（内山 7m05）、砲丸投第5位（藤田）・第6位（高野）、ハンマー投第1位（高野 50m79）。女子ハンマー投第3位（池田 37m56）・第4位（與古田 37m53）※以上5名東海大会出場 * 東海高校新人大会：男子走幅跳第5位（内山）、ハンマー投第7位（高野）、女子ハンマー投第8位（與古田）

ものづくり研究部：

第34回静岡県高校生エコラン大会 電気自動車部門 第4位（2台出場中1台が走行4位獲得）

(2) 湖北MAGIC活動の成果

- 9月27日（日）、サザンクロス商店街で開催された「おにぎりフェス2026in浜松」に参画。
- 産業マネジメント科3年取締役の生徒が浜納豆を用いたオリジナルおにぎり「はまむす」を開発・販売し、見事に「実行委員長賞」を受賞したことが報告された。

6 次回以降の連絡事項・閉会

第3回会議（中間報告②）：

日時：令和9年1月22日（金）13:30～15:30

内容：協議会および産業マネジメント科3年生 課題研究発表会（14:25～15:15）の見学を同時開催。

第4回会議（学校自己評価・関係者評価）：

日程：令和9年2月1日（月）～2月12日（金）の間で調整。後日、委員へ日程調整アンケートを送付のうえ決定する。

7 校内見学(授業参観)

8 閉会

全日程を終了し、午前11時00分に閉会した。